



TOPIC

☆新会長就任あいさつ

☆新役員紹介

☆令和4年度事業報告

☆新職員紹介

☆令和4年度決算

☆令和5年度事業計画

特集

生活の中での困り事

ひとりで（家族だけで）

悩んでいませんか？

南部町社会福祉協議会



☞ 子ども服譲渡会の予定は
こちらでチェック

本 所：法勝寺331-1

総合福祉センターしあわせ内

0859-66-2900

会見支所：浅井938

総合福祉センターいこい荘内

0859-64-3515

南部町社会福祉協議会 新会長就任あいさつ



社会福祉法人
南部町社会福祉協議会
会長 入口 幹

会員の皆様には、平素から社会福祉協議会の事業に対しまして格別なご理解・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、長年にわたり会長として尽力され、社会福祉協議会の発展に大きく貢献されました藤友裕美会長が退任されることになりました。その功績に対し心より感謝申し上げます。

さて、六月二十一日の理事会におきまして、不肖ながら私がその後任として会長に選任され、責務の重大さを痛感しているところであります。もとより浅学菲才の身であります。前会長同様によりしくお願い申し上げます。

南部町は、南部町社会福祉協議会をはじめとした福祉団体の代表、各地域振興協議会の代表、民生児童委員の代表などからな

る「南部町地域福祉推進計画策定委員会」を令和元年五月に発足させ、地域福祉の新たな指針となる「南部町地域福祉推進計画」（以下計画）を令和三年三月に策定しました。計画の実施期間は令和三年度から令和七年度の五年間とし、分かりやすい概要版を各家庭に配布し、町民の皆様へ周知したところです。

計画の基本理念は、「みんながいいきと活躍し、心つないで支えあう共生のまちづくり」であり、その中で南部町社会福祉協議会の役割としては、サロンボランティア養成と活動支援、ボランティアセンターの機能強化、コミュニティ・ソーシャルワーカーの配置、成年後見事業の推進、介護予防対象者を把握しプログラムにつなげる機能を高めるなど多くのことが明確化されております。南部町社会福祉協議会としては、住民、地域振興協議会、事業者、行政などみなで連携、協力して、つながり合いながら課題解決に取り組み、計画の基本理念に沿う地域福祉を進めてまいりたいと存じます。

新型コロナウイルスの影響で計画の進捗がやや遅れ気味なところもありますが、着実に前に進めていくことが重要と考えています。どうぞ、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新役員紹介

本会役員の任期満了により、以下のとおり理事・監事が改選されました。

*敬称略

役職名	氏名	所属等	役職名	氏名	所属等
会長	入口 幹	法勝寺地区代表	理事	田邊 元史	地域活動者
副会長	佐藤 重明	東西町地区代表	//	山中 文雄	手間地区代表
//	田邊千代美	南さいはく地区代表	//	板持 照明	賀野地区代表
理事	細田 元教	学識経験者	//	伊藤 真	学識経験者
//	畠 稔明	天津地区代表	//	前田かおり	健康福祉課長（町主管課）
//	西本 和行	大国地区代表	監事	田中 堅司	財務管理に見識を有する者
//	青砥日出夫	地域活動者	//	三嶋 誠	財務管理に見識を有する者

（任期：令和5年6月21日～令和7年定時評議員会終結の時まで）

令和4年度 事業報告

令和4年度は、前年度から継続している新型コロナウイルス感染症が収束しない状況の中、社会経済状況と人々の生活が不安定な状態のまま社会福祉協議会の事業運営についても様々な影響があり、会議や事業の中止を余儀なくされた。年度後半になり、収束への兆しが見えてきたが引き続き感染防止対策を取りつつ事業運営を行った。

当初の事業計画においては、継続事業を行っていくとともに地域福祉推進計画に沿った取り組みを具体化した ①住民との協働による課題発見機能の強化 ②福祉活動促進のための協議の場づくりの支援 ③福祉を担う人材の発掘と育成 ④各種研修事業を含めた福祉学習の推進 ⑤ボランティアセンターの機能強化の5点を重点目標にかかげていた。

行政や地域振興協議会等と関係者が連携して推進していく「地域福祉推進計画」については、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の課題に向き合い、課題解決に向かって住民参加の促進につながるような取り組み方法について関係者との協議を重ね、地域福祉ネットワーク活動として取り組んだ。地域福祉推進計画の促進の一環として、共助交通への移行を目指した「買い物支援サービス」を7月から開始した。

新型コロナウイルス感染症の影響は事業の中止等が求められる一方で、減収や休業、失業等により収入減でお困りの世帯への一時的な生活資金の貸付事務への対応など、生活に困窮している方々が地域で経済的に安心して暮らすための支援として、緊急小口資金特例貸付、総合支援資金貸付（両コロナ特例貸付は令和4年9月末で終了）等の資金貸付業務も重要な取り組みであった。生活困窮者自立支援事業では複雑化・多様化する相談に対して、プランを策定しそれを遂行するために、さまざまな制度の活用や多機関との連携が更に重要となり、専門的相談支援やコロナ特例貸付後の生活、就労、償還などの相談支援も行った。

各継続事業（いきいきサロン活動支援、子ども服リユース、夏休みボランティア体験、配食サービス、福祉バスの運営など）は、コロナ禍の中で、人が「集う」ことの制限や休止もやむをえない時期もあったが、人と人とのつながりが断たれないためにwithコロナでの新たな方策について検討し、取り組んだ。

今年度は、福祉を担う人材の発掘と育成、各種研修事業を含めた福祉学習の推進、ボランティアセンターの機能強化についての具体的な活動が出来なかったため、来年度におけ課題を残すこととなった。

新職員紹介

2名の職員が採用になりました。

南部町の福祉の向上に貢献できるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



事務局長
中前 三紀夫

4月1日採用



総務・福祉係主事
平田 大貴

4月1日採用

令和4年決算 資金収支計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位：円)

収 入		支 出	
会 費 収 入	3,284,000	人 件 費 支 出	40,288,470
寄 付 金 収 入	2,536,160	事 業 費 支 出	3,269,122
補 助 金 収 入	36,646,258	事 務 費 支 出	7,052,499
受 託 金 収 入	16,562,300	そ の 他 の 支 出	8,450,651
事 業 収 入	1,144,691	共同募金助成金事業費	465,291
受取利息配分金収入	1,571	助 成 金 支 出	3,959,289
そ の 他 の 収 入	1,093,404	負 担 金 支 出	141,050
長期貸付金回収収入	147,776	固 定 資 産 取 得 支 出	132,000
		長 期 貸 付 金 支 出	193,470
収入合計	61,416,160	支出合計	63,951,842

収支不足額については、令和3年度末資金残高より補填

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

会計名	資産の部		負債の部	
一般会計・ 公益事業特別会計 合算	流動資産	80,897,804	流動負債	10,168,550
	現金預金	80,797,559	事業未払金	6,126,109
	未収金	66,895	未払費用	647,827
	仮払金	33,350	職員預り金	1,098,445
			賞与引当金	2,296,169
			負債合計	10,168,550
	固定資産	61,932,111	純資産の部	
	基本財産	2,000,000	基本金	2,000,000
	その他の固定資産	59,932,111	国庫補助金等特別積立金	28,367,037
	土地	3,500,000	国庫補助金等特別積立金	28,367,037
	建物	48,935,188	その他積立金	2,366,000
	車両運搬具	4,466,257	退職金積立金	2,366,000
	器具及び備品	395,272		
	ソフトウェア	114,400		
	長期貸付金	85,694	次期繰越活動増減差額	99,928,328
	退職金積立資産	2,366,000	(うち当期活動増減差額)	-6,662,051
長期前払費用	69,300	純資産の部合計	132,661,365	
資産の部合計	142,829,915	負債及び純資産の部合計	142,829,915	

令和5年度事業計画

重点目標

- ①地域と連携した相談機能強化にむけての取組
- ②福祉活動促進のための協議の場づくりの支援
- ③福祉を担う人材の発掘と育成
- ④地域における福祉学習の推進
- ⑤ボランティアセンターの機能強化

主な実施計画

1. 法人運営事業

- (1) 法人組織の基盤づくり
- (2) 社協活動基盤強化への取り組み
- (3) 広報啓発活動の実施

2. 地域福祉推進事業

- (1) 地域福祉ネットワーク活動
- (2) 福祉活動促進のための基盤強化と活動支援事業
- (3) いきいきサロン活動支援事業

3. 生活相談支援事業

- (1) 総合相談事業の実施
- (2) 福祉資金貸付相談の実施
- (3) 日常生活自立支援事業の実施
- (4) 生活困窮者自立相談支援事業の実施
- (5) 生活支援コーディネーター設置事業の実施

4. ボランティアセンター事業

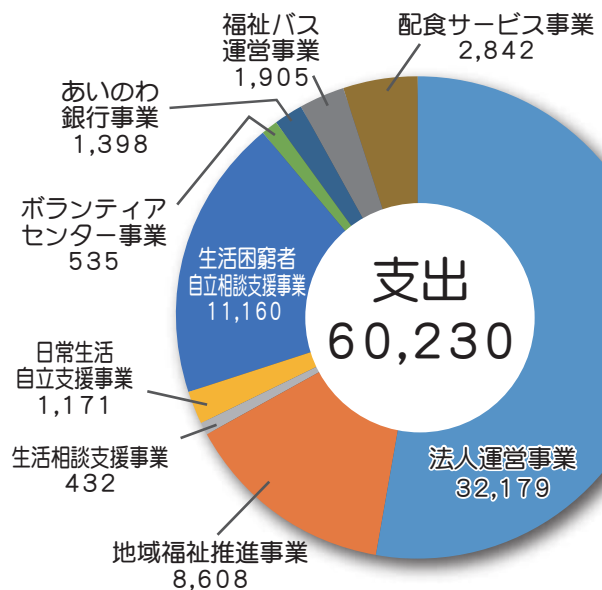
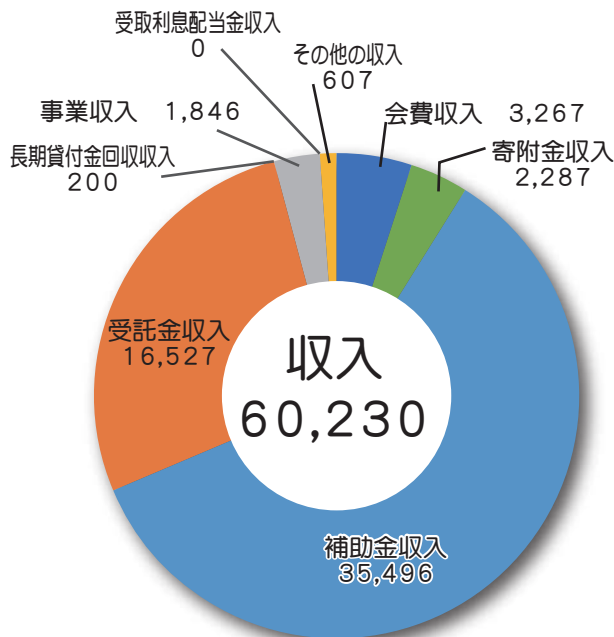
- (1) 福祉教育関連事業
- (2) ボランティアセンター機能の充実
- (3) あいのわ銀行の運営

5. 地域生活支援事業

- (1) 配食サービスの実施
- (2) 福祉バスの運営

令和5年度収支予算

(単位：千円)



通院や買い物の
交通手段

ひとり暮らし
が不安

家計のやりくり
に
困っている

での困り事)悩んでいませんか？



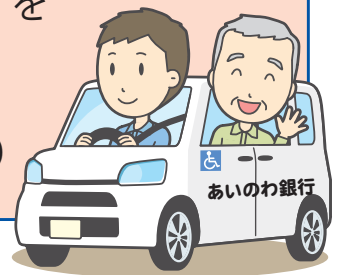
日常生活自立支援事業

高齢や障がいなどにより、判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域などで安心して自立した生活を送ることができるよう、必要な福祉サービスに関する相談や援助を実施し、その方の生活を支援する事業です。

あいのわ銀行事業

あいのわ銀行とはボランティアによる生活支援を行う事業です。買い物や通院でお困りの方に対して「付添いサービス」を実施しています。

(利用には一定条件があります)



お問合せ・ご相談は
南部町社会福祉協議会
電話 66-2900



ホームページ

社会福祉協議会へお気軽にご相談ください。

失業してしまった

ニート
ひきこもり

生活が苦しい



生活の中 ひとりで(家族だけで

南部町社会福祉協議会が実施している事業

総合相

生活困窮者自立支援事業

なかなか就職できない、経済的に苦しい等、仕事や生活のことなどでお困りの方の相談窓口です。相談支援員が自立に向けた支援を一緒に考え、必要な機関と連携して解決へのお手伝いをします。

各種相談に応じる開設し、関係行政療福祉職などの専域でいつまでも暮らします。また、地元のフードパトナなど独自の生活支援を行います。

家計改善支援事業

「ローンなどの返済に困っている」、「家計のやりくりがうまくいかない」などの課題について家計相談員が家計表を作成し、計画的な家計支援をいたします。

配食サー

ひとり暮らしの高齢者「見守り」を目的とするサービスです。方が行います。

お困り事があれば、



ひとりで抱えこまず、南部町

ありがとうございました



(令和5年2月1日から令和5年7月31日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業など福祉活動の財源として活用させていただいています。

香典返し

(敬称は省略させていただきました。)


寄付者名	集落名	故人名	金額
板持 順也	宮前一	秀	金一封
岩越 恵子	倭	久米澤 佐賀恵	金一封
松岡 博洋	原	吉村次男	金一封
市川 美代恵	天萬3番組	悟	金一封
板持 年昭	浅井	弘子	金一封
岡本 彰三	今長	磯雄	金一封
山脇 文雄	東西町3区	カズコ	金一封
秋田 博和	武信	陽子	50,000
桑名 俊成	坂根	安男	金一封
田中 章一	下阿賀	吉夫・壽子	金一封
都田 裕	天萬4番組	哲男	金一封
駒場 均	二楸	愛子	金一封
増川 睦子	上阿賀	景山禮子	金一封
牧野 慎也	馬佐良	廣子	金一封
加納 重美	倭	一三	金一封
山本 久子	天萬7番組	泰郎	金一封
坂本 近子	境	延生	50,000
大塚 昭二	清水川	町枝	金一封
青砥 豊治	北方	功幸	金一封
長谷川 知久	伐株	不二江	金一封
西野 豊	城山	麻子	金一封
組藤 良太	入蔵	浪子	金一封
庄本 欣弘	城山	幸正	金一封
大江 強	倭	勝人	金一封
秦 静夫	上阿賀	延江	金一封
田中英也	法勝寺4区	卓也	金一封
安野 武男	大河内	昭子	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額
永江 勇	宮前一	公明	金一封
大塚 範昭	清水川	悦子	金一封
伊藤 忍	広島市	松岡綾子	金一封
岡田 翼	法勝寺1区	桂子	金一封
秦 和美	円山	貞巳	金一封
丸山 弘	境	隆美	金一封
住友 和子	柏尾	孝良	金一封
内藤 達也	下阿賀	たか子	金一封
戸田 志功	東西町3区	静男	金一封
森岡 重信	坂根	萬亀子	金一封
陶山 敦志	猪小路	アヤ	金一封
吉次 初美	西原	岩田民子	金一封
大塚 賢一	清水川	明夫	金一封
大江 亜紀子	円山	賢治	金一封
亀原 幸子	倭	八千枝	金一封
岡島 礼子	柏尾	山中郁子	金一封
頼田 則子	縄平	雪子	金一封
三上 恵子	四季	美由紀	金一封
青砥 聡	馬場	品代	金一封
塚田 實	金山	賤枝	金一封
田貝 美智也	金田	勝計	金一封
松浦 満子	三本木	善子	金一封
板垣 秀雄	天萬7番組	フサ子	金一封
金田 誠	掛相	雅子	金一封
赤井 茂	朝金	美貴子	金一封
永見 聡	柏尾	春美	金一封

見舞い返し

寄付者名	集落名	金額
小林 晃	田住	金一封
雑賀 裕成	高姫	金一封

◎ご寄附の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。
◎寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。



編集後記

「我が家の夏の恒例行事」

今年も夏野菜の苗を植え付け、収穫することができた。家で食するため、カボチャ・ピーマン・トマト・ナス・キュウリ・モロヘイヤ・ズッキーニと種類は多くはないが、毎日の食卓にかかせない野菜。

我が家は、4世帯8人家族でこの時期は貴重な食材となっている。同時に、小学生と2歳の孫にとっては、野菜の植え付けから水やり・草取り・収穫と関わることで、食の大切さを学ぶいい機会となっている。今年の夏は、学校や保育園から帰ると畑と一緒にいくことが恒例行事となった。暑い時期で大変だが、長袖長ズボンと長靴に履き替えていざ出発。雨が降る度に雑草とのたたかいが続ぎ、畑の管理の大変さをあらためて痛感する毎日だったが、収穫時期は嬉しそうに畑に行こうと声をかけとくる。

また、高齢の父親にとってもひ孫のそうした姿を見ることは、いい刺激となっている。

できれば、今後も続けていきながら家族の健康を維持していきたいと考えている。

(T・I)